



(1) AI・データサイエンスセンター

設立は2020年4月。AI、データサイエンス、セキュリティ、個人情報の取り扱いなど、現代の情報社会における社会人として必修の内容を学ぶ。近年、ビッグデータ活用やAI革命により社会全体に大きな変革が起こりつつあるが、そのような時代の転換点において社会のニーズに適切に対応できる人材を養成することが大学に課されたもっとも重要なミッションと捉え、全学教育を実現し、持続的な運営を行う。

(2) ELSIセンター

AIなどの科学的イノベーションと共存できる社会を構築するために必要な法制度や倫理観、社会的条件などを追求し、さまざまな社会課題を解決することを目的として設立。活動の柱は「学際的研究プロジェクト」「社会連携プロジェクト」「人材育成」の3本からなり、社会連携では産学官を含むコミュニティを形成し、AI技術に関わる社会的課題の実現に向けた議論を重ねている。



(3) +C (プラスシー)

+Cという名称は「Chuo (中央)」「Creative (クリエイティブ)」「Challenge (チャレンジ)」「Change (チェンジ)」の頭文字に由来する。そこには、サイトを訪れる人の事業やビジョンに対し、さまざまなCをプラスして新しい未来を創出したという想いが込められている。



Chuo Vision 2025

世界に存在感のある大学へ

中央大学 中長期事業計画  
Chuo Vision 2025

MISSION		
グローバルな視野と実地応用の力を備え、人類の福祉に貢献する人材の育成		
VISION		
<p><b>教育 Education</b></p> <p>社会の期待に応え、人類の福祉に貢献する力を備えた人材を育成するための総合的な実学教育の拠点の形成</p>	<p><b>研究 Research</b></p> <p>地球規模での複雑な諸問題の解決に寄与する専門的かつ学際的な研究の拠点の形成</p>	<p><b>社会貢献 Contribution to Humanity</b></p> <p>特色ある教育研究に立脚した社会連携とヒューマンネットワーク拠点の形成</p>
<p><b>キャンパス Campus</b></p> <p>人類の未来を拓き、常に新たな社会的価値を創出する総合キャンパスの構築</p>	<p><b>経営 School Management</b></p> <p>本学の継続的な事業活動を支える揺るぎない経営基盤の確立</p>	

建学の精神 「實地應用ノ素ヲ養フ」

2020年に設立されたAI・データサイエンスセンター<sup>(1)</sup>では、全学生に必要なリテラシー科目をはじめ、それらの技術・知識を各自の専門分野で活用する力を身につけるためのプログラムがスタートしたほか、産業界との共同研究を推進しながら連携事業を展開しています。今日ではさまざまな産業分野で事業プロセスのスマート化が進み、国際競争力の強化が求められています。当該分野の知識に通じたエキスパートやメンターの重要性が増す中、同センターは広範な学問領域を網羅する総合大学としての強みを生かし、社会人に向けたリカレント教育にも注力していきます。

**科学技術の課題を解決 産官学連携も強力に推進**

科学技術の急速な進展に伴い、倫理的・法的・社会的課題について検討する「ELSI(エルシー)」と

法と正義の資料館・大学史資料館

2024年4月、中央大学初となる資料館が2館同時にオープンしました。多摩キャンパス「炎の塔」2階の中央大学の歴史資料館では、2つの常設展示室、2つの企画展示室、合計4つの展示室で展示をご覧いただけます。

法と正義の資料館

The Museum of Law and Justice

基本的人権の擁護や正義の実現のために歴史上重要な役割を果たした法曹その他の偉人の業績を広く顕彰することにより、教育にも資することを目的とした資料館です。



法と正義、基本的人権の理念について歴史的・理論的に検討する展示

大学史資料館

The Museum of Chuo University History

英吉利法律学校に始まる中央大学の歴史や本学関係者の事蹟を通じて本学のアイデンティティを明らかにするための資料館です。



駿河台校舎教室再現 大時計

入場料：無料 開館時間10:00-17:00 (入館は16:30まで)  
休館日：日曜・祝日  
※ご来館の際は、資料館Webサイトから最新の開館スケジュールをご確認ください



詳細はこちら

という研究が日本でも広がっています。国内屈指の法学部を擁する中央大学では、2021年4月に「ELSIセンター<sup>(2)</sup>」を設立。人工知能や次世代型インターネット「Web3」、メタバースなど、最新技術の実装に伴う法的・倫理的な課題について研究を行っており、文理融合研究・人材育成の新たな拠点としても期待が寄せられています。また、中央大学では知の社会還元、研究の高度化のため、産業界や官公庁などの協定、連携を促進する

「研究推進支援本部」を設置。創出された知的財産の適切な管理・活用を推し進めています。こうした産学官連携の発信源として注目されるプラットフォーム<sup>(3)</sup>です。さまざまな分野の研究者を取り上げ、研究活動や見据えるビジョンを紹介したり、研究者と産業界の担当者が目標や未来を共有し、「いい関係」で連携している様子を対談やインタビューで発信しています。



かわいひろし  
河合久学長

1981年中央大学商学部卒業。83年同大学大学院商学研究科博士前期課程修了。専門は会計情報システム論。他大学専任教員、中央大学教授、商学部長、副学長などを経て2021年より現職。大学コンソーシアム八王子会長、日本私立大学連盟常務理事、大学基準協会理事なども務める。

1885年に創立した中央大学は、「實地應用ノ素ヲ養フ(ジッチオウヨウノソヲヤシナウ)」という建学の精神のもと、139年にわたり社会を支え、未来を拓く人材を数多く送り出してきました。その伝統と実績は、多様な学問研究と幅広い実践的な教育を通して「行動する知性を育む」というユニバーシティメッセージに受け継がれています。

2023年度には都心に3つの新キャンパスを開校。知の集積を図るとともに、現代社会における事象や課題が複雑化していることを受け、全学で文理横断型の研究教育を展開。Society 5.0の時代を見据え、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)も推進するなど、確かな未来につながる学びの実現に向けて、「さらに開かれた中央大学」を目指します。

中央大学

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1 入学センター TEL 042-674-2144 <https://www.chuo-u.ac.jp/connect/>



茗荷谷キャンパス

**2大キャンパス体制が始動**

「『中央大学中長期事業計画 Chuo Vision 2025』のもと進められてきた改革により、2023年度、本学は茗荷谷キャンパスを開校し、法学部・大学院法学研究科が多摩キャンパスから移転しました。さらに市ヶ谷田町キャンパスに大学院国際情報研究科を開校し、後楽園、駿河台の各キャンパスを合わせた都心キャンパス群において知の集積をはかります」と河合久学長が述べているように、中央大学は都心エリア5キャンパス(茗荷谷、市ヶ谷田町、後楽園、小石川、駿河台)を整備。多摩キャンパスと合わせた「2大キャンパス体制」が始動しました。

**理工学部を再編し 理工系3学部を新設(設置構想中)**

高度な能力を持った付加価値の高い理工系人材を求めている社会の要請に応えるべく、中央大学は理工学部を再編し、理工系3学部(基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部、学部名はいずれも仮称)の新設を2025年度に構想中です。新設する各学部の教育研究上の特色に応じて養成する人材像を明確に

このうち、都心キャンパスでは、法学部(茗荷谷キャンパス)・理工学部(後楽園キャンパス)・国際情報学部(市ヶ谷田町キャンパス)による3学部共同開講科目「学問最前線」がスタートし、また、法学部と法科大学院との連携により法曹教育も一層強化されています。

多摩キャンパスでは、経済学部・商学部・文学部・総合政策学部に加え、2019年に全科目の7割以上を外国語科目(主に英語)で授業を行う国際経営学部がスタート。2020年にはグローバル館・国際教育寮、2021年にはFOREST GATEWAY CHUOを開校しました。外国人留学生は、28の国・地域から948名(2024年5月1日現在・全キャンパス)が学び、国際交流活動が盛んに行われています。

基幹理工学部	社会理工学部	先進理工学部
<p>数学科</p> <p>物理学科</p> <p>応用化学科</p> <p>生命科学科</p>	<p>都市環境学科</p> <p>ビジネスデータサイエンス学科</p> <p>人間総合理工学科</p>	<p>精密機械工学科</p> <p>電気電子情報通信工学科</p> <p>情報工学科</p>
<p><b>学びのキーワード</b></p> <p>STEM教育 基礎分野の複眼的理解</p>	<p><b>学びのキーワード</b></p> <p>理工系の理論と技法 文理融合の複眼的思考</p>	<p><b>学びのキーワード</b></p> <p>先端科学理論/技術 実践的応用力/スキル</p>

文理横断型教育研究や教育DXを展開  
次世代を拓く「行動する知性」を育て、  
「さらに開かれた中央大学」を目指す

このうち、都心キャンパスでは、法学部(茗荷谷キャンパス)・理工学部(後楽園キャンパス)・国際情報学部(市ヶ谷田町キャンパス)による3学部共同開講科目「学問最前線」がスタートし、また、法学部と法科大学院との連携により法曹教育も一層強化されています。



駿河台キャンパス